

平成 27 年度 PF-UA 総会議事録

日時：平成 28 年 3 月 16 日 13:40-14:30

場所：つくば国際会議場エポカル 中ホール 300

- ・正会員の 1/50 以上の出席者数があり，会則 18 条の規定により本総会が成立することを確認した。
- ・会則 16 条により，議長の選出を行った。推薦により，水木氏が議長となった。
- ・平井会長から開会の挨拶があった。
- ・スライド資料に基づき報告および審議が行われた。
- ・会計報告（平成 28 年 3 月まで，運営委員会承認済み）（会計幹事）
- ・ユーザグループ関係の報告（庶務幹事）
 - ・ユーザグループの統廃合
「表面化学 UG」 + 「表面 ARPES UG」 ⇒ 「表面科学 UG」
 - ・ユーザグループ運営 BL（ステーション）
 - BL-3B（ARPES10）：表面科学 UG
 - AR-NE7（MAX-III）：高圧 UG
 - ・ユーザグループ代表者の変更
タンパク質結晶構造解析 UG
- ・会則改訂についての提案（庶務幹事）
 - ・会員の退会，個人情報保護に関する改訂案が報告され，継続して検討することになった。
 - ・既存ユーザグループの統廃合に関する会則を追加することが提案され，一部修正のうえ承認された。
 - ・PF ニュース編集委員長指名に関する会則の改訂が提案され，承認された。
- ・今後の量子ビームサイエンスフェスタの開催方法についての報告（平井会長）
今後の開催の仕方について主催団体代表者による協議が行われ，次年度は 3 月 13 日～15 日の期間に行われることになった。今後は主催団体相互の緊密な連携・協力の下に開催し，ホストは物構研と MLF が交互に担当することになった。
- ・次期計画に対する PF-UA の活動と貢献についての総合討論
平井会長より PF 将来計画検討委員会最終報告書の内容が紹介され，PF-UA の対応として，KEK 放射光装置検討専門委員会および利用検討専門委員会の立ち上げや次期計画に関する拡大 UG ワークショップの開催，アンケートの実施などの具体的な方策が提案された。これを受けて，会場から，PF-UA にとっての次期計画の位置づけやそれに対する PF-UA の関わり方などを中心に活発に意見が出され，PF-UA が次期計画を全面的に支持し，実現に向けてあ

らゆる努力を推し進めるべきであることを確認した。